



## ブルーオーシャンカフェ、1周年記念で「第3回住吉マルシェ」開催



東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線住吉駅より徒歩4分に位置する「ブルーオーシャンカフェ」



近隣産の野菜、生花、パン、お菓子を販売した「住吉マルシェ」



冒頭で行なったカフェオーナー村田ますみ氏のミニセミナー（上）。地域貢献活動などについて講演した小金井祭典・豊枝明人社長

東京・住吉の終活コミュニティカフェ「ブルーオーシャンカフェ」は、2月20、21日の2日間にわたり1周年記念イベント「第3回住吉マルシェ」を開催した。

同カフェは、海洋散骨事業「ブルーオーシャンセレモニー」を展開する株式会社ハウスポートクラブ（本社東京都江東区、社長村田ますみ氏）が昨年2月21日にオープン。飲食提供が中心だが、「すべての人が輝ける場所に「生き方」「逝き方」「活き方」を考えるコミュニティカフェ」をコンセプトに、終活カウンセラーなどの資格をもつスタッフが相談窓口となるほか、エンディングノート、相続対策、葬儀、散骨などをテーマとしたセミナーやワークショップなどを開催している。

イベントでは、同日とも終活相談コーナーをはじめ、近隣の和菓子店、パン屋、生花店などが出店する住吉マルシェや、アルバム製作、遺フィギュア撮影会などのテーブル出店マルシェ、不用品回収などを実施した。

また、1日目は、カフェオーナーの村田社長がミニセミナーを行ない、1年間の振り返り、カフェの特徴や成果、課題、今後の展望などを説明した。その後、東京・小金井市の専門葬儀社小金井祭典社長の是枝朝人氏が地域との共



テーブル出店マルシェでは、遺フィギュア撮影会のブースが出店した

生への取組みをテーマに、自社で行なうさまざまな地域貢献活動やコミュニティサロン「めぐる」などを紹介した。2日目には、ボサノヴァライブを開催するなど、来場者は2日間で約100人にのぼった。

また、3月9日には新たな試みとして認知症患者やその家族、介護者が気軽に医療・介護の専門家に相談できる「認知症カフェ」を開催した。